

収蔵資料展 原爆の絵「あなたが今いるこの通りで—鯉城通りの惨状—」（会場:OCR室）
展示一覧

点数	エリア	作者	よみ	タイトル
1	平和大通り周辺	駒田 保	こまだ たもつ	白煙が充滿する市街地
2		香口 真作	こうぐち しんさく	母は手を前に伸ばし、少しでも子どもに近づこうともがきながら死んだ
3		平野 馨	ひらの かおる	焼けた電車と馬の死骸
4		畝 正登	うね まさと	「おじさん、水を下さいや」
5		藤田 弥生	ふじた やよい	爆風で倒れた玉垣、焼け残った神殿
6		宮本 鏡	みやもと あきら	防火用水槽の死体。体がふくらんで、みんな下を向いて死んでいた。
7	袋町電停周辺	児玉 富美子	こだま ふみこ	「お客さん、逃げてください」
8		田坂 元	たさか はじめ	焼けた市電の中で炭化した人々
9		小野 勝	おの まさる	みかん箱に納められた幼児二人の焼死体
10	大クスノキ 国泰寺の	中野 健一	なかの けんいち	人々に大切にされた大クスノキ
11		内田 豊	うちだ ゆたか	国泰寺のオオクス
12		古川 正一	ふるかわ しょういち	くすぶるクスノキの大木
13		重谷 喜美江	しげたに きみえ	根こそぎ倒れた大クスノキと黒焦げの死体
14		中村 達吾	なかむら たつご	人間とは見えぬ腐肉の集団
15		高増 径草	たかます けいそう	被爆後に描いたスケッチ
16	広日本銀行	松島 道枝	まつしま みちえ	無情
17		高田 智與子	たかた ちよこ	「助けてー、家へ連れて帰ってー、お姉さんー」
18	本通り電停周辺	八島 猛	やしま たけし	母親らしき遺体は、乳飲み子をしっかりと抱きしめていた
19		高蔵 信子	たかくら あきこ	喉が渴き黒い雨を口で受ける
20		井野上 忠夫	いのうえ ただお	阿修羅像そのままの赤い死体
21		三吉 末子	みよし すえこ	防火用水槽に腰掛けた性別もわからないほどやけどした死体
22		増岡 寛治	ますおか かんじ	赤茶けた電車に取り残された遺体
23	紙屋町交差点周辺	高蔵 信子	たかくら あきこ	青い炎を出して燃える手
24		濱田 義雄	はまだ よしお	芸備銀行での決死隊
25		濱田 義雄	はまだ よしお	紙屋町付近の惨状
26		法貴 みはる	ほうき みはる	水槽にもたれ掛かる黒焦げの死体と手足がバラバラになった子供の死体
27		大田 晴代	おおた はるよ	水をあげるとすぐに息を引き取った
28		井野上 忠夫	いのうえ ただお	交差点の死体
29		井野上 忠夫	いのうえ ただお	防火用水に浸っていた人
30		岩田 武	いわた たけし	電車通りに散乱する死体、馬、電車
31		木村 幸作	きむら こうさく	トタンの下で黒焦げになっている子どもたち、電車の中で焼けただれた人々
32		高橋 正明	たかはし まさあき	電車と死体
33		藤本 仁一	ふじもと じんいち	水槽で亡くなった女性は内臓が出ていた
34		横山 正	よこやま ただし	電車の惨状
35		横田 ハルヨ	よこた はるよ	黒焦げの人体を道端で焼く
36		武田 一美	たけだ かずみ	紙屋町電車交差点付近にて
37		池田 キミエ	いけだ きみえ	家族だったのだろうか。どの死体も皆煉瓦色で丸く膨らんでいた。
38	小早川 泰造	こばやかわ たいぞう	陽が出ていた女の焼死体	



白煙が充滿する市街地
絵/駒田 保



青い炎を出して燃える手
絵/高蔵 信子